

事業番号	04 03 24	事業改善シート (26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	周産期医療対策事業			担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	医療推進課	
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり 4 医療施策の充実	7-2 子育て先進県の実現 2 産科・小児科医療の提供体制の整備		E-mail	iryo@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	H22 ~		

1 事業の概要

目指す姿	平成24年度に改定した「周産期医療整備計画」を踏まえ、周産期医療機関の連携により母体・新生児の搬送体制を確保し、高度な周産期医療を提供する「周産期医療システム」の充実を図るとともに、周産期母子医療センターの運営費への補助を行い、周産期の医療提供体制を整備する。 平成29年度目標:周産期死亡率3.6人(出産千人当たり)を維持する。											
現状	<ul style="list-style-type: none"> 本県では平成12年に整備した「周産期医療システム」が順調に稼働しており、医療機関の役割分担と拠点搬送体制ができてきているところ。 ただし、一時期よりも改善したとはいえ、なおも分娩取扱施設の減少やその地域偏在に加え産科医の不足等の問題は残っており、周産期医療を担う医療機関の負担が重く、運営支援が必要。 また、平成19年に設定した連携病院・連携強化病院の見直しが必要。 											
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 国庫補助の活用実施が効率的である。 救急医療対策事業実施要綱、医療提供体制推進事業費補助金交付要綱					県民との協働による実施:可能					
成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)											
	周産期医療協議会開催回数 : 3回 運営費補助が必要な周産期母子医療センターのうち補助実施施設数の割合 : 8/8施設											
	② 事業内容 (単位:千円)											
		項目	実施方法	H26実施内容	H25 (当初)	H26 (要求) (予算案)						
	周産期医療協議会	直接	母体・新生児搬送状況等調査 協議会開催3回	507	687	687						
	周産期母子医療センター運営事業補助金	補助金	8施設	173,296	180,830	180,830						
			合計	173,803	181,517	181,517						
事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26要求	26予算案	成果目標の達成状況					
	予算額	前年度繰越						項目	H25末 (見込)	H26		H27 目標
		当初予算	183,803	156,972	173,803	181,517	181,517			目標	成果	
		補正予算						協議会開催回数	2回	3回		
		合計(A)	183,803	156,972	173,803	181,517	181,517	補助が必要な施設に対する補助実施施設数の割合	8/8 施設	8/8 施設		
	Aの財源	国庫支出金	183,464	156,633	173,464	181,058	181,058					
		県債										
		その他()										
		一般財源	339	339	339	459	459					
		決算額(B)	91,599	87,172								
	概算職員数(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05						
	概算人件費(C)	413	413	413	413	413						
	概算事業費(B(A)+C)	92,012	87,585	174,216	181,930	181,930						
指摘事項等への対応	(指摘事項等)					(対応)						
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善												
要求からの主な変更点	要求どおり											